

# 令和4年度の取組実績及び 令和5年度の取組予定について

---

令和5年9月29日

静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会

# 静岡県東部地域の減災に係る取組方針について

「静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会」（以下「協議会」）は、洪水氾濫や土砂災害による被害を軽減するためのハード・ソフト対策を総合的かつ一体的に推進するために設立された。

本協議会では、東部地域における水害の特徴や課題、これまでの取組の進捗状況等を踏まえ、令和3年度から7年度までに、命を守るための円滑かつ迅速な避難、氾濫発生後の社会機能の早期回復等、大規模氾濫時の減災対策として各構成機関が計画的・一体的に取り組む事項について、「静岡県東部地域の減災に係る取組方針」としてとりまとめた。

## ■減災のために達成すべき目標

東部地域の豪雨災害に対し、地形・社会特性を踏まえ

- 住民の防災意識の向上
- 逃げ遅れによる人的被害をなくすこと
- 氾濫発生後の社会機能の早期回復を目指す。

目標達成に向け、東部地域において、3本柱に基づく7つの重点取組事項を設定し、目標達成に向けた取組を実施している。

3本柱：(1)～(3)  
7つの重点取組事項：①～⑦

## (1) 地域住民の防災意識を向上させるための防災教育推進の取組

- ① 防災教育等の推進

## (2) 地域住民の確実な避難のための取組

- ② 洪水時における情報提供の充実
- ③ 広域避難体制の構築
- ④ 要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の促進

## (3) 洪水氾濫による被害軽減のための水防活動・排水活動・復旧活動等の取組

- ⑤ 水防団（消防団）の組織強化
- ⑥ 水防活動の充実
- ⑦ 治水施設整備等の促進

# 概ね5年で実施する取組

国土交通省がとりまとめた「緊急行動計画（平成31年1月改定）」を基本とし、地域特有の課題を踏まえ、概ね5年で実施する取組を設定した。また、各取組における対象機関を定めている。

取組項目	重点取組事項
<b>(1) 関係機関の連携体制</b>	
1 大規模氾濫減災協議会等の設置	—
<b>(2) 円滑かつ迅速な避難のための取組</b>	
<b>①情報伝達、避難計画等に関する事項</b>	
2 洪水時における河川管理者からの情報提供等（ホットラインの構築）	②洪水時における情報提供の充実
3 避難指示等発令の対象区域、判断基準等の確認（タイムライン）	②洪水時における情報提供の充実
4 多機関連携型タイムラインの拡充	②洪水時における情報提供の充実
5 水害危険性の周知促進	②洪水時における情報提供の充実
6 ICT等を活用した洪水情報の提供	②洪水時における情報提供の充実
7 危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理	②洪水時における情報提供の充実
8 洪水予測や河川水位の状況に関する解説	②洪水時における情報提供の充実
9 防災施設の機能に関する情報提供の充実	②洪水時における情報提供の充実
10 ダム放流情報を活用した避難体系の確立【対象外】	②洪水時における情報提供の充実
11 土砂災害警戒情報を補足する情報の提供	②洪水時における情報提供の充実
12 避難計画作成の支援ツールの充実	②洪水時における情報提供の充実
13 隣接市町村における避難場所の設定（広域避難体制の構築）等	③広域避難体制の構築
14 要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施	④要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の促進
<b>②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項</b>	
15 浸水想定区域の早期指定、浸水想定区域図の作成・公表等	②洪水時における情報提供の充実
16 ハザードマップの改良、周知、活用	②洪水時における情報提供の充実
17 浸水実績等の周知	②洪水時における情報提供の充実
18 ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実	②洪水時における情報提供の充実
19 災害リスクの現地表示	②洪水時における情報提供の充実
20 防災教育の促進	①防災教育等の推進
21 避難訓練への地域住民の参加促進	①防災教育等の推進
22 共助の仕組みの強化	①防災教育等の推進
23 住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進	①防災教育等の推進
24 地域防災力の向上のための人材育成	①防災教育等の推進
<b>③円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項</b>	
25 洪水予測や水位情報の提供の強化	②洪水時における情報提供の充実
26 決壊までの時間を少しでも引き延ばす堤防構造の工夫（危機管理型ハード対策）	⑦治水施設整備等の促進
27 避難路、避難場所の安全対策の強化	⑦治水施設整備等の促進
28 応急的な退避場所の確保	⑦治水施設整備等の促進
29 河川防災ステーションの整備	⑥水防活動の充実

取組項目	重点取組事項
<b>(3) 被害軽減の取組</b>	
<b>①水防体制に関する事項</b>	
30 重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	⑥水防活動の充実
31 水防に関する広報の充実（水防団員確保に係る取組）	⑤水防団（消防団）の組織強化
32 水防訓練の充実	⑥水防活動の充実
33 水防関係者間での連携、協力に関する検討	⑤水防団（消防団）の組織強化
<b>②多様な主体による被害軽減対策に関する事項</b>	
34 市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実	②洪水時における情報提供の充実
35 市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実（耐水化、非常用発電等の整備）	②洪水時における情報提供の充実
36 早期復興を支援する事前の準備	⑦治水施設整備等の促進
<b>(4) 氾濫水の排除、浸水被害軽減に関する取組</b>	
37 排水施設、排水資機材の運用方法の改善	⑦治水施設整備等の促進
38 排水設備の耐水性の強化	⑦治水施設整備等の促進
39 浸水被害軽減地区の指定	⑦治水施設整備等の促進
40 庁舎等の防災拠点の強化	⑦治水施設整備等の促進
<b>(5) 防災施設の整備等</b>	
41 堤防等河川管理施設の整備（洪水氾濫を未然に防ぐ対策）	⑦治水施設整備等の促進
42 本川と支川の合流部等の対策	⑦治水施設整備等の促進
43 多数の家屋や重要施設等の保全対策	⑦治水施設整備等の促進
44 流木や土砂の影響への対策	⑦治水施設整備等の促進
45 土砂・洪水氾濫への対策	⑦治水施設整備等の促進
46 ダム等の洪水調節機能の向上・確保【対象外】	⑦治水施設整備等の促進
47 重要インフラの機能確保	⑦治水施設整備等の促進
48 樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保	⑦治水施設整備等の促進
49 河川管理の高度化の検討	⑦治水施設整備等の促進
<b>(6) 防災・減災に関する国の支援</b>	
50 水防災社会再構築に係る地方公共団体への財政的支援	⑦治水施設整備等の促進
51 代行制度による都道府県に対する技術支援	⑦治水施設整備等の促進
52 適切な土地利用の促進	⑦治水施設整備等の促進
53 災害時及び災害復旧に対する支援	⑦治水施設整備等の促進
54 災害情報の地方公共団体との共有体制強化	⑦治水施設整備等の促進

## ：狩野川流域において対象外の取り組み

# 本資料に掲載している取組一覧

- ★：令和4年度の取組実績
- ：令和5年度の取組予定
- ：令和4年度の取組実績 & 令和5年度の取組予定

取組番号	沼津市	三島市	御殿場市	裾野市	伊豆市	伊豆の国市	函南町	清水町	長泉町	小山町	駿東伊豆消防本部	富士山南東消防本部	御殿場・小山消防本部	警察本部	陸上自衛隊	伊豆箱根鉄道	静岡地方気象台	沼津河川国道事務所	静岡県	沼津土木事務所	東部地域局	静岡県危機管理部	
取01																							
取02															●				○				
取03																							
取04																							
取05									★				●						★				
取06		●																	★				○
取07																	★						
取08																							
取09																							
取10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
取11																							
取12																							●
取13																							
取14	●					★													●				
取15																				○			
取16							●																
取17																							
取18																							
取19																				★			
取20			○		○	○												●	○	★	●		
取21				★																			
取22									○														
取23	●		★			●		○	○														
取24																							
取25																	○						
取26																							
取27																							

# 本資料に掲載している取組一覧

★：令和4年度の取組実績  
 ○：令和5年度の取組予定  
 ●：令和4年度の取組実績 & 令和5年度の取組予定

取28																						
取29																						
取30	●																					
取31																						
取32			○						●	●	●	○			●							
取33										●	○		●	●								★
取34																						
取35																						
取36																						
取37																						
取38																						
取39																						
取40																						
取41									★												○	
取42																						
取43																						
取44																						
取45																						
取46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
取47					★																	
取48																						
取49																						
取50																						
取51																						
取52																						
取53																						
取54																						

令和4年度取組実績

重点取組事項：水防体制に関する事項  
 取組項目：重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認（取組番号：30）

大雨による浸水被害から市民の自宅を守るために、市内に土のうステーションを設置している。  
 令和4年度に1箇所（大平地区）増設し、市内の土のうステーションは、計3箇所となった。



大平土のうステーション  
 （令和4年度新設）

令和5年度取組予定

重点取組事項：水防体制に関する事項  
 取組項目：重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認（取組番号：30）

引き続き、土のうステーションの活用について、市民への周知を行っていくとともに、土のうステーションの増設を検討していく。  
 ※市民が土のうステーションを活用する際は、河川課まで連絡してもらい、1世帯20袋までを限度に各自お持ちいただいている。（配達はしていない。）  
 ※市民への周知は、市ホームページ等で行っている。



一本松土のうステーション  
 （既設）



我入道土のうステーション  
 （既設）

令和4年度取組実績

重点取組事項：平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

取組項目：・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）

住民一人ひとりが行政に依存することなく、各地区ごとの水害リスクを整理し、計画的な避難行動を行うためのマイ・タイムライン作成について、市内の対象13地区に対し説明を行った。



対象地区での説明会の様子

令和5年度取組予定

重点取組事項：平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

取組項目：・住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）

住民一人ひとりが行政に依存することなく計画的な避難行動を行うためのマイ・タイムライン作成について市内の対象11地区に対し説明を行っていく。

説明用資料（おもて面）

説明用資料（うら面）

避難するタイミング	避難する場所	避難する場所	避難する場所	避難する場所
1	自宅	自宅	自宅	自宅
2	避難所	避難所	避難所	避難所
3	避難所	避難所	避難所	避難所
4	避難所	避難所	避難所	避難所
5	避難所	避難所	避難所	避難所
6	避難所	避難所	避難所	避難所

令和4年度取組実績

重点取組事項：①情報伝達、避難確保計画等に関する事項

取組項目：要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施  
(取組番号：14)

- 高齢者が利用する要配慮者利用施設（介護保険事業所等）における災害発災時の対応について、発災時の避難確保計画の作成及び避難訓練の実施を指導
- 高齢者が利用する要配慮者利用施設（介護保険事業所等）に対し、発災後のBCP計画の作成を指導し、発災時及び発災後の施設利用対応について、体制を整備する（令和3年度～）。
- 水害等発災時における緊急連絡網を通じ、施設の危機管理体制状況の確認を実施



★避難確保計画

- ・指導対象施設数 104施設
- ・指導実施施設数 (R4) (未作成施設への指導) 9施設

★BCP計画

- ・指導対象施設数 144施設
- ・指導実施施設数(R4) (運営指導に基づく指導)54施設

令和5年度取組予定

重点取組事項：①情報伝達、避難確保計画等に関する事項

取組項目：要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施  
(取組番号：14)

- 高齢者が利用する要配慮者利用施設（介護保険事業所）に対し、引き続き避難確保計画の作成及び避難訓練の実施を指導する。
- 高齢者が利用する要配慮者利用施設（介護保険事業所）における、早急なBCP計画策定を指導し、発災時及び発災後の施設利用対応について、体制を整備する。
- 水害等発災時における緊急連絡網を通じ、施設の危機管理体制状況の確認を実施する。

【参考 6/2 大雨被害時の対応】

以下の市内介護保険事業所等に対する被害状況照会実施。

・介護医療院	1件
・介護老人保健施設	6件
・介護老人福祉施設	11件
・特定施設入居者生活介護	11件
・地域密着型サービス	72件
・介護支援事業所	58件
・訪問介護	58件
・通所介護	24件
	計241件

※市内各地域包括支援センター（10カ所）に対する避難判断の助言も実施した。



## 令和4年度取組実績

**重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実**  
**取組項目：ICT等を活用した洪水情報の提供**  
**（取組番号：06）**

大雨や洪水などが発生した際に、国の監視システムの情報等の確認や現場の見廻りを行った上で、一級河川に繋がる樋管の開閉を判断していたが、情報収集などに要する時間を短縮し、迅速な判断ができるようにするため、令和2年度より、樋管の内水側に河川監視カメラ及び水位センサーを設置している。また、迅速な避難情報の発令のため、大雨による急激な水位状況が見込まれる中小河川に監視カメラ等を設置している。

令和4年度においては、河川等監視カメラ2基及び水位センサー4基の設置を行った。

【大場川、沢地川合流点の河川監視カメラ】



【樋管の内水側に設置した監視カメラ】

## 令和5年度取組予定

**重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実**  
**取組項目：ICT等を活用した洪水情報の提供**  
**（取組番号：06）**

市河川監視カメラ映像及び水位センサーのデータは、パソコンやスマートフォンでの閲覧が可能であることから、令和5年度においては、浸水被害の可能性がある地域住民へ出水状況をリアルタイムで情報提供する。また、今後も監視が必要と思われる箇所へ、監視カメラ等を設置していく。

河川水位・画像情報一覧

ライブ画像一覧 水位一覧 拠点(詳細)

■ 祇園大橋 (大場川 / 大宮町) ■ うるおい広場 (大場川 / 栗町) ■ 白滝公園 (板川 / 大宮町) ■ 芝橋 (源兵衛川 / 芝本町)

【監視画面】

拠点名: 祇園大橋 (大場川 / 大宮町)

ライブ画像一覧 水位一覧 拠点(詳細)

■ ライブカメラ映像 ■ 正常時映像

■ 拠点位置

【監視場所一覧画面】

# 令和4年度の取組実績・令和5年度の取組予定【御殿場市】

## 令和4年度取組実績

**重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項**

**取組項目：住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）**

県危機政策課、東部地域局の支援のもと、「わたしの避難計画」作成を進めた。特に洪水・土砂災害のリスクを有する、富士岡地区の5区について作成し、土砂災害防災訓練の実施に合わせ、配布した。風水害に対する備えとして、災害リスクと取るべき行動が確認できるツールになることから、今後も整備を進めていきたい。

作成日 年 月 日

冷震や玄関など 目につく場所に貼っておこう!

### わたしの避難計画

**大雨** 防災マップで自宅の危険を確認し、記入

**大雨** 避難のタイミング、避難先を決め、情報の収集手段を確認し、記入

自宅の位置を確認しましょう

自宅は土砂災害による危険がある地域ですか？

家族で避難に時間がかからない人はいますか？

安全な場所に住んでいて頼れる 親戚や知人はいますか？

避難のタイミングが発表されたら

避難先

二次公民館  
中山公民館  
中山中央公民館  
その他

避難情報やハザードマップ  
避難場所の開設状況  
避難情報やニュース

テレビ  
スマートフォン  
その他アプリ

※市の公式LINEやホームページ、業務アプリについて、4ヶ所に2次元コードを掲載しています。

わたしの避難計画

## 令和5年度取組予定

**重点取組事項：①防災教育等の促進**  
**取組項目：防災教育の推進（取組番号：20）**

令和4年度においては、約40の対象団体、のべ約4,000名の方に対して防災出前講座を実施し、そのうち約660名について、特に風水害への備えに関する講座を実施した。

その中でも11団体（学校、病院、赤十字奉仕団、自主防災会等）に、風水害への日頃からの備えや、避難行動等について防災教育を行い好評だったことから、今後も防災教育を促進していく。その中でも「わたしの避難計画」に関連した教育を行い、災害への備えとして活用を推進していく。

気象庁 御殿場地域指定河川洪水予報(12日17:50現在)

教育資料①

御殿場市 富士岡地区

教育資料②(わたひな)



出前講座の様子①



出前講座の様子②

## 令和4年度取組実績

重点取組事項：①防災教育等の促進  
取組項目：避難訓練への地域住民参加の促進  
(取組番号：21)

令和3年7月の大雨により市内で一番降水量が多かった千福が丘地区をモデル地区に選定し、土砂災害モデル地区訓練を実施した。(6月5日)

避難所の受付の様子▶  
紙ベースの受付と防災アプリを活用した受付で時間を比較



▶千福が丘庁内会館で自治会が管理している防災資機材の利用を体験

## 令和5年度取組予定

重点取組事項：③被害軽減の取組  
取組項目：水防訓練の充実(取組番号：32)

近年は、気候の極端化により、大雨などによる河川はん濫の危険が高まりつつあることを考慮し、黄瀬川に隣接する佐野地先で市主催による水防訓練を実施。

- ・自衛隊員の指導による、消防団員の土のう積み訓練
- ・要配慮者利用施設職員及び施設利用者の訓練参加
- ・地元住民の二本松公民館への一時避難、安否確認等
- ・排水ポンプの実演(デモンストレーション)

令和3年7月3日の黄瀬川の様子▶  
(要配慮者利用施設職員撮影)



土のう積み訓練



二本松公民館での勉強会

## 令和4年度取組実績

**重点取組事項：洪水時における情報提供の充実**  
**取組項目：重要インフラの機能確保（取組番号：47）**

大雨や台風時の河川に関する危険情報等を速やかに市民に届けられるよう、同報無線のデジタル化事業を実施した。

令和2年度に実施設計を完了し、令和3年度から2箇年で市内全域で工事を着手した。

本事業にて難聴地域への子局新規設置や、高性能スピーカーの導入により、今まで放送が聞こえていなかった地域に放送が届くようになった。

●パンザマストの更新箇所数

実施年度	箇所数 (基)	達成率 (%)
令和3年度	68	42
令和4年度	95	58
計	163	100



●戸別受信機の設置／対象75歳以上の世帯（R5.4.1時点）



実施年度	計画	実績
令和4年度	991	1,095

※計画：令和3年度調査による希望世帯数

## 令和5年度取組予定

**重点取組事項：防災教育の促進**  
**取組項目：防災教育の推進（取組番号：20）**

●市内4中学校は、2年生で行う「総合的な学習の時間」を未来の防災人材育成の時間とし、ふじのくにジュニア防災士の取得までを狙った防災教育を実施している。

教育委員会と危機管理課で連携し、避難行動や避難所運営等を実践的に学び、自助・共助の必要性について考える授業を実施する。



DIG(災害図上訓練)



避難所運営訓練  
 (トイレブース組み立て)→

令和4年度取組実績

重点取組事項：①情報伝達訓練、避難計画等に関する事項

取組項目：要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施

(取組番号：14)

市内85施設あるよう配慮者利用施設と災害時の情報連絡体制を確立するため、避難確保計画作成の説明会を実施。避難行動タイムラインを確認させ、台帳を整備することにより災害対策本部の避難情報及び応急対応に活用する。



要配慮者利用施設情報連絡体制説明会

避難行動タイムライン

施設台帳

令和5年度取組予定

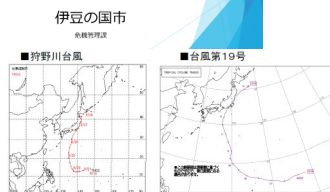
重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

取組項目：防災教育の促進（取組番号：20）

市内の小中学校を対象に「防災教育」の支援する。令和5年度においては、小学校1校で段階を追って、防災マップの見方からクロスロード等を活用し、全5項目の講座を実施し、ふじのくにジュニア防災士の認定を受ける。また、中学校1校で防災講座（狩野川台風と令和元年台風19号との比較）と土のう作りを実施し、水害への備えや避難行動等について考える講座を実施。



令和元年台風第19号とハザードマップ



中学校防災講座



小学校防災講座

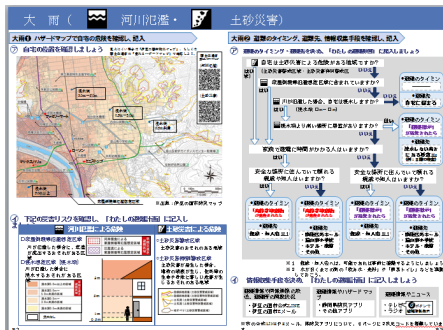
## 令和4年度取組実績

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項  
 取組項目：住民一人ひとりの避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）

長岡地区および大仁地区へ「わたしの避難計画」の作成支援を行い、普及展開し早期避難を意識付ける取り組みを行った。



ワークショップ実施

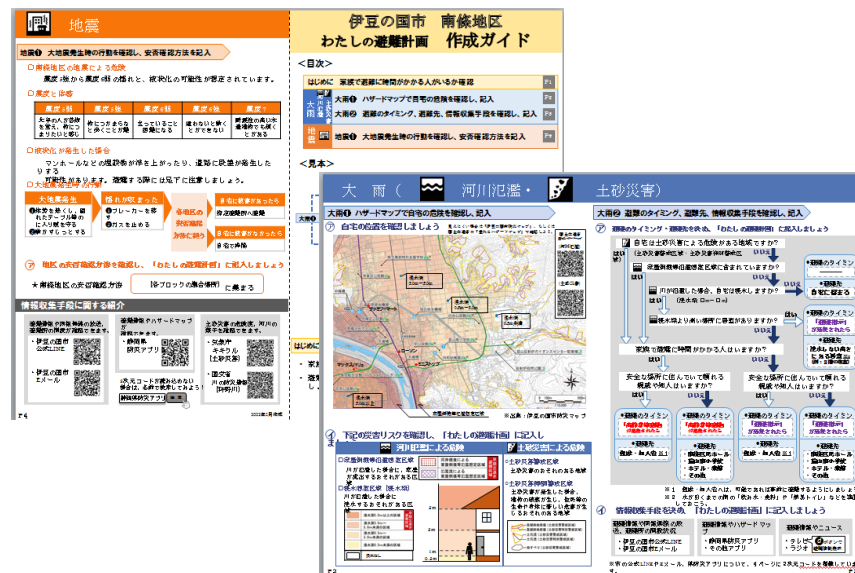


「わたしの避難計画」

## 令和5年度取組予定

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項  
 取組項目：住民一人ひとりの避難計画・情報マップの作成推進（取組番号：23）

浸水想定区域内にある市内10地区へ「わたしの避難計画」の作成支援（ワークショップ）を行い、普及展開し早期避難を意識づける取り組みを行っていく。



「わたしの避難計画」

## 令和4年度取組実績

**重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項**  
**取組項目：・ハザードマップの改良、周知、活用（取組番号：16）**

令和3年度に想定最大規模の洪水浸水想定区域及び浸水継続時間を反映した防災マップの作成

令和4年度に「函南町防災マップ」町内、全戸に配布し、防災出前講座において「函南町防災マップ」の見方やマイ・タイムラインの活用方法等について、町内小学校5校、町内中学校1校、自主防災組織3組織、一般団体3団体の計12団体 651人に対して活用方法の周知を行った。



令和4年3月に更新した「函南町防災マップ」



防災出前講座の様子



## 令和5年度取組予定

**重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項**  
**取組項目：・ハザードマップの改良、周知、活用（取組番号：16）**

令和4年度に引き続き、「函南町防災マップ」の見方やマイ・タイムラインの活用方法等についての防災出前講座を実施することにより、早期避難による人的被害の軽減を目指す。

「函南町防災マップ」裏表紙の「マイ・タイムライン」を活用し、防災出前講座参加者自身の「マイ・タイムライン」を完成させる取組みを実施する。



「函南町防災マップ」P02「マイ・タイムライン」の作成方法



「函南町防災マップ」裏表紙「マイ・タイムライン」

## 令和4年度取組実績

重点取組事項：②多様な主体による被害軽減対策に関する事項

取組項目：堤防等河川管理施設の整備（洪水氾濫を未然に防ぐ対策）（取組番号：41）

適切な河川管理のため、徳倉地区の江川（普通河川）の護岸等を、毎年自治会・青年団にて草刈りを行っていたが、洪水氾濫を未然に防ぐための根本的な解決にはいたっていなかった。

令和4年度からは河川管理者側施工により護岸の草木の除去とともに防草シート敷設等を行い、根本的な解決を図ることとした。なお、施工は下流側から着手し、全体計画は5か年を予定しており、最初の1年目を終えた。



江川 作業前



江川 作業後

## 令和5年度取組予定

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

取組項目：住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）

「わたしの避難計画」作成講座を計画的に実施する。町民一人一人が、想定されるすべての災害リスク（地震・河川氾濫、土砂災害）に対して、それぞれの災害ごとの適切な避難行動を整理し、身近な場所に貼り出し迅速な避難ができるようにすることを目的としている。わたしの避難計画は浸水害が想定される町内の南地区を中心に令和3年度より計画的に実施していく予定であり、令和5年度は町内の外原地区と下徳倉地区で実施予定。



講座の資料

作成日 年 月 日 わたしの避難計画 (清水町 中徳倉地区)

作成ガイドを見て家族の状況や災害リスクなどを記入しよう!

準備作業や主眼など、目につく場所に貼っておこう!

手順① 家族で避難に時間がかかる人を記入

避難に時間がかかる人  
 いる  
 いない

手順② ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

河川氾濫の危険  
 浸水のおそれ  浸水なし  浸水あり

土砂災害の危険  
 直下型  
 土砂災害警戒区域  
 土砂災害特別警戒区域

手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を記入

大雨  あり  なし  あり  なし

●避難のタイミング

●避難先

●情報収集手段

手順④ 大地震発生時の安否確認方法を確認し、記入

地震  あり  なし

●プレカーも落とす・ガスを止める

●貴・赤十字の提示

地区の一時避難先

自宅に被害があったら 指定避難所へ

自宅に被害がなかったら 自宅待機

自由記入欄 (連絡先等)

私の避難計画表



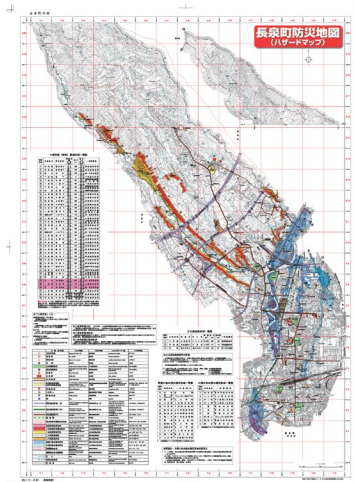
# 令和4年度の取組実績・令和5年度の取組予定【長泉町】

## 令和4年度取組実績

重点取組事項：①情報伝達、避難計画等に関する事項

取組項目：水害危険性の周知促進（取組番号：05）

令和4年度は、「長泉町防災ハンドブック」を全戸配布し、浸水想定区域や土砂災害警戒区域（特別警戒区域）の周知促進を図り、迅速な避難につなげるよう啓発した。



長泉町防災ハンドブック



## 令和5年度取組予定

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

取組項目：共助の仕組みの強化（取組番号：22・23）

令和5年度も引き続き、自治会内にハザード（浸水想定区域等）が指定されている区長・自主防災会長に対して町の避難指示等の避難情報の発令方法や住民への早めの避難の必要性等について説明を行った。

今年度については、陸上自衛隊から実災害（自然災害）への対応について説明をいただいた。

自然災害への対応について



区長・自主防災会長に対する説明



## 令和4年度取組実績

### 重点取組事項：水防訓練の充実 取組項目：土砂災害訓練の実施（取組番号：32）

鮎沢川の水位周知河川指定を受けて、洪水ハザードマップを作成した。対象地区に配付した後、県との共催で5月に3回の説明会を開催した。

6月には、土砂災害に対する住民避難訓練を小山1区～4区、所領区を対象に行い、鮎沢川の水位が増し、さらなる危険が迫ったとの想定で、指定避難所の健康福祉会館から町内企業への住民避難を自衛隊車両等の協力を得て初めて実施した。



自衛隊車両による指定避難所から信濃食品工業(株)富士小山工場への避難  
(R4.6.5 小山町健康福祉会館)

## 令和5年度取組予定

### 重点取組事項：水防訓練の充実 取組項目：土砂災害訓練の実施（取組番号：32）

#### ○住民避難訓練(6/3夜間)

土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域を持つ生土区、音瀧区、落合区の住民が避難指示を受けて、指定避難所である小山中学校体育館に避難、受付・避難所運営実習等を実施した。

#### ○水防訓練（6/4）

自主防災組織、消防団、防災士等を対象に、土のう作成要領、土のう積み工法、ロープ結索、無線機の操作等、基礎的な水防技術等を学ぶ訓練を実施した。



自衛隊員の指導による土のう作成(R5.6.4 小山町内生土区)

## 令和4年度取組実績

**重点取組事項：**水防関係者間での連携、協力に関する検討  
**取組項目：**構成市町防災担当者連絡会議（取組番号：33）

○令和4年6月に、駿東伊豆消防本部管内の構成市町4市3町（沼津市・清水町・函南町・伊豆の国市・伊豆市・伊東市・東伊豆町）防災担当者との情報連絡会議を開催した。

○緊急消防援助隊の概要や進出拠点の必要性について再確認した。また、現地視察を実施し、進出拠点の候補地について協議した。

**重点取組事項：**水防訓練の充実

**取組項目：**建設業協会との重機合同連携訓練（取組番号：32）

○令和4年9月に、関係機関との連携強化及び操作技術の高度化を目的として、建設業協会・消防機関（駿東伊豆消防本部・静岡市消防局）において、土砂災害対応連携訓練を実施した。

○災害現場に近い状態での悪路走行や道路啓開作業等の訓練を関係機関と連携して実施することにより、静岡県地域における防災力の底上げにつながったと考えられる。



## 令和5年度取組予定

**重点取組事項：**水防関係者間での連携、協力に関する検討  
**取組項目：**構成市町防災担当者連絡会議（取組番号：33）

○災害時に緊急消防援助隊の受援が円滑に行えるよう進出拠点（活動拠点・宿営場所等）の確保に努める。引き続き各構成市町と協議、調整し、複数の進出拠点の確保に向けて協力していく。

○各構成市町防災担当者と平時から連絡を密にし、顔の見える関係を構築することで、災害時における連携強化を図る。

**重点取組事項：**水防訓練の充実

**取組項目：**建設業協会との重機合同連携訓練（取組番号：32）

○令和3年7月から重機隊の運用を開始し、熱海市土石流災害にて活動した。以後、より高度な操作技術を求め、建設業協会に協力を依頼し、技術指導を受けている。

○令和5年度は、さらなる関係機関との連携強化及び操作技術の高度化を目的として、建設業協会・警察・消防機関（駿東伊豆消防本部・静岡市消防局）において、土砂災害対応連携訓練を計画している。



## 令和4年度取組実績

**重点取組事項：浸水域での救出訓練の実施**  
**取組項目：水防訓練の実施（取組番号：32）**

水害時に、浸水域から救出することを想定して、救命ボートを使用した水難救出訓練を実施した。



## 令和5年度取組予定

**重点取組事項：消防団と合同水防訓練の実施**  
**取組項目：消防団との連携強化**  
**（取組番号：33）**

- ・消防団と連携し、土のう作製訓練を実施した。引き続き連携を深めるため訓練を実施する。



**重点取組事項：浸水域での救出訓練の実施**  
**取組項目：水防訓練の実施（取組番号：32）**

- ・9月に浸水域から救出することを想定して、救命ボートを使用した水難救出訓練を実施予定。

## 令和4年度取組実績

重点取組事項：① 情報伝達、避難計画等に関する事項

取組項目：水害危険性の周知促進  
(取組番号：05)

警報発令により、1次招集配備体制（担当課の招集）を取り、市町危機管理部局との連絡体制を確保し、ビジネスチャット利用による画像で、降雨量の定時報告、及び河川水位状況を必要により適時報告した。

河川	観測所	観測時刻	観測水位	警戒水位	危険水位	備考
小川	観測所	07:00	0.5m	1.0m	1.5m	1.00m
		08:00	0.5m	1.0m	1.5m	1.00m
		09:00	0.5m	1.0m	1.5m	1.00m
		10:00	0.5m	1.0m	1.5m	1.00m
月見川	観測所	07:00	0.0m	0.5m	1.0m	1.00m
		08:00	0.0m	0.5m	1.0m	1.00m
		09:00	0.0m	0.5m	1.0m	1.00m
		10:00	0.0m	0.5m	1.0m	1.00m
観音川	観測所	07:00	0.1m	0.5m	1.0m	1.00m
		08:00	0.1m	0.5m	1.0m	1.00m
		09:00	0.1m	0.5m	1.0m	1.00m
		10:00	0.1m	0.5m	1.0m	1.00m
御殿川	観測所	07:00	0.5m	1.0m	1.5m	1.00m
		08:00	0.5m	1.0m	1.5m	1.00m
		09:00	0.5m	1.0m	1.5m	1.00m
		10:00	0.5m	1.0m	1.5m	1.00m

### 降雨記録

河川	観測所	観測時刻	観測水位	警戒水位	危険水位	備考
小川	観測所	07:00	0.5m	1.0m	1.5m	1.00m
		08:00	0.5m	1.0m	1.5m	1.00m
		09:00	0.5m	1.0m	1.5m	1.00m
		10:00	0.5m	1.0m	1.5m	1.00m
月見川	観測所	07:00	0.0m	0.5m	1.0m	1.00m
		08:00	0.0m	0.5m	1.0m	1.00m
		09:00	0.0m	0.5m	1.0m	1.00m
		10:00	0.0m	0.5m	1.0m	1.00m
観音川	観測所	07:00	0.1m	0.5m	1.0m	1.00m
		08:00	0.1m	0.5m	1.0m	1.00m
		09:00	0.1m	0.5m	1.0m	1.00m
		10:00	0.1m	0.5m	1.0m	1.00m
御殿川	観測所	07:00	0.5m	1.0m	1.5m	1.00m
		08:00	0.5m	1.0m	1.5m	1.00m
		09:00	0.5m	1.0m	1.5m	1.00m
		10:00	0.5m	1.0m	1.5m	1.00m

河川水位調査票



観測地点河川状況

## 令和5年度取組予定

重点取組事項：① 情報伝達、避難計画等に関する事項

取組項目：水害危険性の周知促進  
(取組番号：05)

引き続き、河川水位状況の観察画像をビジネスチャットを利用し部局内で情報共有すると共に、危機管理部局へ情報提供できる体制をとる。

重点取組事項：① 水防体制に関する事項

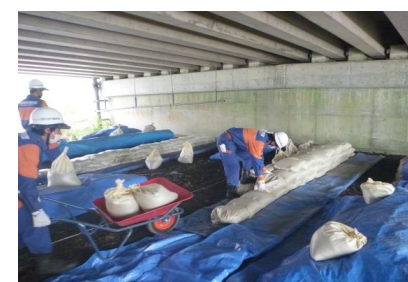
取組項目：水防訓練の充実 (取組番号：32)

毎年、出水期を迎える前に消防団員（兼 水防団員）に対する水防訓練を行っている。

引き続き、大雨等による水災害に対して円滑な水防活動ができるよう訓練内容を検討し、訓練を継続していく。



土のう作成



土のう積み工法

## 令和4年度取組実績

**重点取組事項：水防関係機関との連携**  
**取組項目：各会議等への参加（取組番号：33）**

- ・洪水対応演習の実施 5/23
- ・静岡県水防協議会への参加 3/16
- ・狩野川洪水予報連絡会他への参加 6/13
- ・静岡県東部地域大規模氾濫減災協議会への参加 9/12
- ・静岡河川事務所水防連絡会等会議への参加 4/20
- ・菊川・天竜川水防連絡会委員会への参加 4/14

## 令和5年度取組予定

**重点取組事項：水防関係機関との連携**  
**取組項目：各会議等への参加（取組番号：33）**

引き続き、各会議等へ積極的に参加し、水防関係者間の連携、協力に関する検討を図る。

## 令和4年度取組実績

**重点取組事項：情報伝達訓練の実施**  
**取組項目：情報伝達訓練の実施**  
**（取組番号：32）**

毎年9月に実施している防災訓練の情報伝達訓練について、実践を意識して緊張感をもって実施。そして、引き続き防災知識および防災応動訓練の再確認を実施。



防災訓練風景

## 令和5年度取組予定

**重点取組事項：車両退避計画の策定**  
**取組項目：車両退避計画の策定**  
**（取組番号：32）**

豪雨による自然災害時の防災対策として、例えば、三島市洪水ハザードマップの河川水位について（避難行動の目安となる情報）等を参考に、大場工場線に留置している車両の退避計画を実行に移す目安を策定する。これにより豪雨の際に車両をハザードマップの浸水エリア外の5駅に避難して、被害を軽減させる（避難実績は無し）。

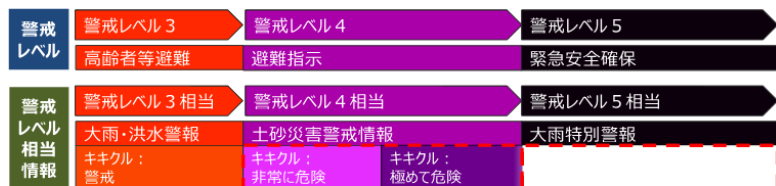
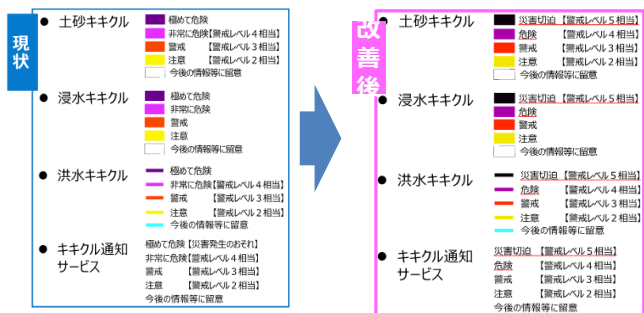


三島市 洪水ハザードマップ

## 令和4年度取組実績

**重点取組事項：危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理**  
**取組項目：キキクルのカラーコードと警戒レベルの統一（取組番号：07）**

大雨特別警報の基準値への到達を示す「災害切迫」（黒）を警戒レベル5相当として新設。これまでの「非常に危険」（うす紫）と「極めて危険」（濃い紫）を統合し、警戒レベル4相当の「危険」（紫）に一本化。これによりキキクルと警戒レベルとの齟齬を解消し、警戒レベル相当としてより分かりやすく伝えるようにした。



①警戒レベルのカラーコードと一致していない。  
 ②キキクル「黒」が無く、市町村は警戒レベル5緊急安全確保の発令対象区域の判断が困難。

## 令和5年度取組予定

**重点取組事項：顕著な大雨に関する気象情報の更新**  
**取組項目：洪水予測の強化（取組番号：25）**

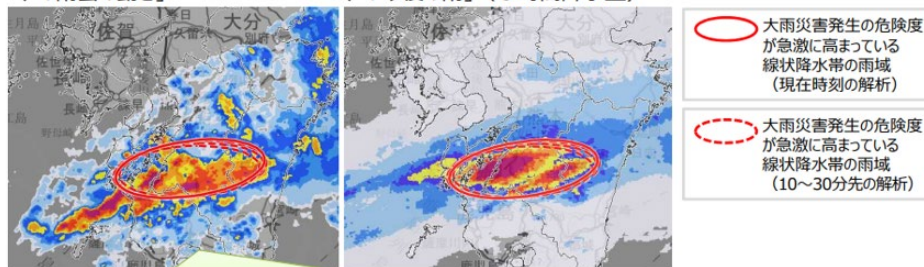
顕著な大雨に関する気象情報の新運用とその情報を補足する凶情報の更新が行われたので、引き続き、市町村訪問や気象防災ワークショップ等を行い、自治体等に、キキクルに加えて、その使い方を周知する。



【気象庁ホームページにおける表示例】

◆「雨雲の動き」

◆「今後の雨」（3時間降水量）



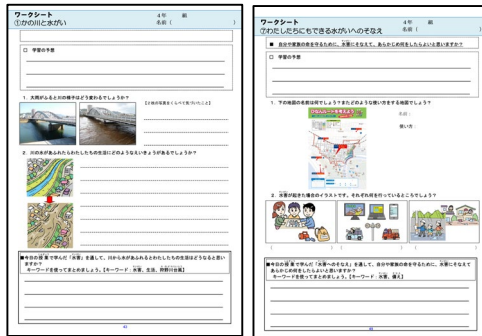
ある時刻（現在時刻）に解析された線状降水帯の雨域を実線の楕円で、現在時刻から10～30分先に解析された線状降水帯の雨域を破線の楕円で表示。



## 令和4年度取組実績

**重点取組事項：②防災教育等の促進**  
**取組項目：防災教育の推進（取組番号：20）**

平成28年度より狩野川流域の小学校を対象に「防災・河川環境教育」の支援に取り組んでいる。  
 令和4年度においては、新規実践協力校2校を含む、計23校の小学校に対して、水害への備えや避難行動等について考える授業を実施するための教材作成等の支援を行った。  
 なお、語り部の映像教材を更新した。



児童への配付資料



学校別ハザードマップ



映像教材  
 (語り部)



授業の様子  
 (令和4年度新規実践協力校)

## 令和5年度取組予定

**重点取組事項：②防災教育等の促進**  
**取組項目：防災教育の推進（取組番号：20）**

引き続き、狩野川流域における「防災・河川環境教育」を支援する。令和5年度においては新たに1校を加えた計24校の小学校で、水害への備えや避難行動等について考える授業を実施する。



令和5年度 支援予定の小学校位置図

## 令和4年度取組実績

**重点取組事項：⑤水防団（消防団）の組織強化**  
**取組項目：水防関係者間での連携、協力に関する検討（取組番号：33）**

狩野川流域の水防活動を円滑に実施するため、狩野川流域の自治体及び水防団（消防団）、河川管理者等が合同で、狩野川で洪水に対しリスクが高い区間（重要水防箇所）の河川巡視を出水期前に実施しました。



沼津市大手町地区  
(あゆみ橋付近)



長泉町本宿地区  
(黄瀬川付近)

### ■参加者 98名

沼津市、三島市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、長泉町、清水町、水防団（消防団）、防災エキスパート、建設業協会、建設コンサルタンツ協会、沼津河川国道事務所

## 令和5年度取組予定

**重点取組事項：⑤水防団（消防団）の組織強化**  
**取組項目：水防関係者間での連携、協力に関する検討（取組番号：33）**

引き続き、重要水防箇所の河川巡視を出水期前に実施しました。（令和5年6月5日、6月8日）水防関係者間での連携を強化するため、今後も継続して実施していく予定です。



三島市御園地先(大場川右岸)



清水町徳倉橋下流(狩野川左岸)

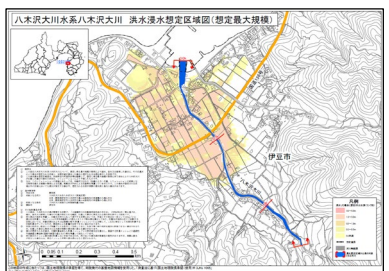
### ■参加者 98名

沼津市、三島市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、長泉町、清水町、水防団（消防団）、防災エキスパート、建設業協会、建設コンサルタンツ協会、沼津河川国道事務所

## 令和4年度取組実績

**重点取組事項：(2) 円滑かつ迅速な避難のための取組**  
**取組項目：水害危険性の周知促進（取組番号：05）**

概要：洪水浸水想定区域図の作成により、住民に浸水リスクを周知するとともに、市町が作成するハザードマップへの反映を支援。



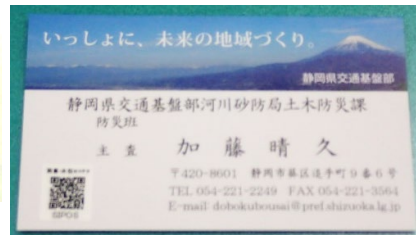
御殿川 等 16河川 (R4.6.30公表)  
 八木沢大川 等 15河川 (R5.3.31公表)

**重点取組事項：(2) 円滑かつ迅速な避難のための取組**  
**取組項目：ICT等を活用した洪水情報の提供（取組番号：06）**

概要：サイポスレーダースマートフォン版に、新コンテンツ（英語サイト、ポルトガル語サイト、やさしい日本語サイト）を実装。  
 サイポスレーダをより多くの方へ知って利用してもらうために、名刺等に貼るサイポスレーダのQRコードシールを作成し、職員に配布。



(QRコードシール)



(スマートフォン版:英語サイト)

## 令和5年度取組実績・予定

**重点取組事項：(2) 円滑かつ迅速な避難のための取組**  
**取組項目：洪水時における情報提供等（取組番号：02）**

概要：出水期前に水防警報等の情報を迅速かつ的確な伝達体制に万全に期すことを目的に、県管理河川を対象に洪水対応演習を実施。  
 (令和5年5月31日実施)



**重点取組事項：(2) 円滑かつ迅速な避難のための取組**  
**取組項目：防災教育の推進（取組番号：20）**

概要：県庁見学会等を活用し、水害リスクや情報の入手方法等を説明。  
 市町防災職員向けの研修会、意見交換会を開催。  
 市町が開催する研修会・説明会において、水害リスク情報等について説明する講師として職員の派遣。  
 『流域治水』の取組を地域の皆様に御理解いただくとともに更に強力に推進するため、「筆文字ロゴ」を作成。  
 広報等用いて積極的に活用。



(平成30年度県庁見学会の様子)



令和4年度取組実績

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項  
 取組項目：住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）

- 「わたしの避難計画」の普及
  - ・「わたしの避難計画」の普及を図るため、パソコン・スマートフォンから簡単に入力・作成できるサイトを作成。
  - ・県立学校防災担当教諭を対象とした研修会を賀茂、東部、中部、西部の4地区で実施。



作成サイトのちらし



ちらし(こども向け)



学校防災担当者研修会

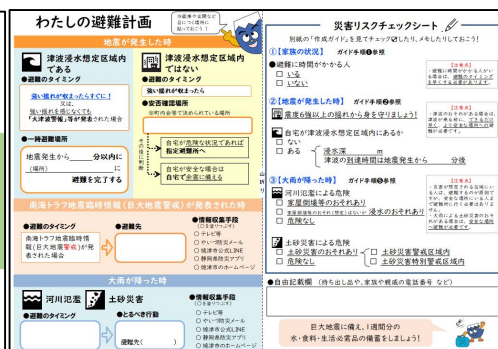
令和5年度取組予定

重点取組事項：②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項  
 取組項目：住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進（取組番号：23）

- 「わたしの避難計画」など、避難行動を促す取組の実施
  - ・「わたしの避難計画」、「マイ・タイムライン」について、市町と連携し、普及が円滑に進むよう地域での普及人材の育成を図るとともに、周知啓発を実施していく。



地区別わたしの避難計画雛形(例1)



地区別わたしの避難計画雛形(例2)

令和4年度取組実績

重点取組事項：①水防体制に関する事項  
 取組項目：水防関係者間での連携、協力に関する検討（取組番号：33）

- 令和4年台風第15号への対応に関する「ふりかえり」
  - ・台風第15号への対応において、孤立集落の被災情報の確認や収集に課題が見られたことから、県と市町が共に「ふりかえり」を行うため、危機管理担当幹部職員による「連絡会議」を実施し、課題の共有と今後の災害発生に備えた対応策を確認し、連携の強化を図った。



令和4年台風第15号への対応に関する連絡会議(令和4年11月30日)

令和5年度取組予定

重点取組事項：①情報伝達、避難計画等に関する事項  
 取組項目：・ICT等を活用した洪水情報の提供（取組番号：6）

- 防災アプリ「静岡県防災」の利便性向上
  - ・引き続き、防災アプリ「静岡県防災」の利便性向上を図るとともに、出前講座の実施により普及促進を図っていく。



防災アプリ「静岡県防災」



## 令和4年度取組実績

**重点取組事項：円滑かつ迅速な避難のための取組**  
取組項目：要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施（取組番号：14）

### ●避難行動要支援者の避難支援対策等に係る取組支援

- ・危機管理部・交通基盤部と連携して、市町防災・福祉担当職員に対して意見交換会を実施した。
- ・市町職員向け個別避難計画作成研修会を実施した。

### ●浸水区域内要配慮者利用施設等の支援

- ・洪水浸水想定区域内、土砂災害警戒区域内に立地する社会福祉施設等が行う避難確保計画の策定や浸水対策資材等の整備を支援した。



市町職員向け個別避難計画作成研修会



浸水対策資材等の整備

## 令和5年度取組予定

**重点取組事項：円滑かつ迅速な避難のための取組**  
取組項目：要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施（取組番号：14）

### ●避難行動要支援者の避難支援対策等に係る取組支援

- ・危機管理部・交通基盤部と連携して、市町防災・福祉担当職員に対して意見交換会を実施（R5.6-7実施済み）
- ・避難行動要支援者の避難支援対策等に係る取組を支援するための広報ツール（個別避難計画作成の手引き）を作成する。
- ・市町職員及び福祉専門職向け個別避難計画作成研修を実施する。



市町防災・福祉担当職員向け意見交換会



## 令和4年度取組実績

**重点取組事項：①防災教育等の推進**  
**取組項目：防災教育の促進（取組番号：20）**

令和4年度は、水害や土砂災害から身を守るための出前講座を、小学校3校と中学校2校で実施した。

- ・伊豆の国市立長岡中学校（9/1）
- ・三島市立山田中学校（9/4）
- ・伊豆の国市立長岡北小学校（9/22）
- ・沼津市立今沢小学校（11/25）
- ・沼津市立原東小学校（11/26）



今沢小学校



ハザードマップの確認



原東小学校



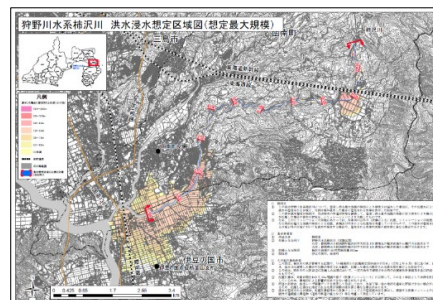
保護者参観の中での授業

## 令和5年度取組予定

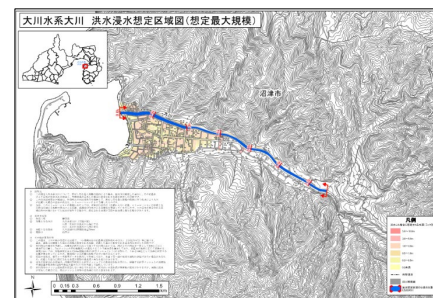
**重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実**  
**取組項目：浸水想定区域の早期指定、浸水想定区域図の作成・公表等（取組番号：15）**

令和4年度は、洪水予報河川又は水位周知河川以外の中小河川においても水害の危険性を周知するため、6月に一級水系16河川、3月に二級水系15河川の浸水想定区域図を公表するとともに、新たに一級水系13河川の浸水想定区域図を作成した。

令和5年度は、残る53河川（一級40河川＋二級13河川）すべての浸水想定区域図の作成を進めていく。



柿沢川洪水浸水想定区域図 R4.6公表



大川洪水浸水想定区域図 R5.3公表

- 一級狩野川水系狩野川筋（計28）  
奥山川、冷川、柿木川、木橋川、入洞川、田沢川、京入道川、冷小川、下り沢川、修善寺深沢川、嵩田川、船原川、吉奈川、長野川、持越川、神戸川、年川、大見西川、中伊豆山田川、城川、梅木川、数沢川、猫越川、地藏堂川、原保川、菅引川、徳永川、湯舟川
- 一級狩野川水系黄瀬川筋（計12）  
梅の木沢川、下和田川、佐野川、桃沢川、谷津川、裾野大久保川、用沢川、金沢川、又沢川、深良川、久保川、西川
- 二級鮎沢川水系（計13）  
小山川、野沢川、須川、馬伏川、小山佐野川、中島川、小山湯舟川、上野川、奥の沢川、竜良川、抜川、立沢川、つつじ川

R5作成予定の53河川

## 令和4年度取組実績

**重点取組事項：②洪水時における情報提供の充実**  
**取組項目：災害リスクの現地表示**  
 (取組番号： 19)

令和4年度は、地域住民若しくは来訪者に災害リスクを周知するため土砂災害警戒標識等を管内に61基設置した。

令和5年度についても、管内各市町内に計50基程度の設置を予定しているため、引き続き、看板設置に係る許可手続き等について御協力願いたい。



公園



駐車場



沿道



花壇

## 令和5年度取組予定

**重点取組事項：⑦治水施設整備等の促進**  
**取組項目：堤防等河川管理施設の整備**  
 (取組番号：41)

一級水系富士川水系沼川新放水路の整備については、海岸防潮堤部の完了する予定であり、引き続き函体工及び水門工等を進めるほか、一級河川狩野川水系境川、来光川、久保川等において流下能力向上のための河道拡幅工事を進める。

その他河川においても、既存の流下能力の最大化を図るため、河道内の支障木の伐採や堆積土砂の撤去を着実に進めていく。



沼川新放水路(R5.5撮影)



## 令和4年度取組実績

重点取組事項：①防災教育等の促進  
取組項目：防災教育の推進(取組番号：20)ほか

### 風水害に関する防災教育の推進

管内の高等学校等を対象に防災出前講座を実施しており、令和4年度については、99回（沼津土木管内で69回）の出前講座を実施した。

講座ではハザードマップの見方や市町が発令する避難情報の意味の解説など、風水害に関する内容なども説明している。



### 市町風水害危機管理演習の実施

管内市町の防災担当職員を対象に、防災情報の取扱いや避難指示等の発令判断など防災対応力の向上を目的に演習を実施した。

<演習>（令和4年6月9日）

参加者：9市町15名

地域における風水害対策の強化に向け、当局が作成した「風水害対応イメージTEN」を活用し、風水害の時系列を意識した演習を実施した。



### 地域住民に対する意識啓発と防災指導の実施

<研修>（計3回実施）参加者：56名

地域住民の防災意識向上を目標に、風水害対応イメージTEN研修を実施し、風水害への備えと対応力の強化を図った。

## 令和5年度取組予定

重点取組事項：①防災教育等の促進  
取組項目：防災教育の推進(取組番号：20)ほか

### 風水害に関する防災教育の推進

令和5年度についても、児童生徒や教員を対象に、防災について理解し、日頃の備えや適切な判断ができるよう、防災出前講座を実施する。講座の内容がより効果的になるよう防災講話に加えて、DIG等のグループ演習を取り入れている。



### 市町風水害危機管理演習の実施

令和5年度についても、訓練や演習を通じて、市町の防災対応力強化を図っている。

<演習>（令和5年6月6日）

参加者：12市町22名



### 地域住民に対する意識啓発と防災指導の実施

地域防災力を強化するため、住民一人一人の防災意識向上と避難行動の迅速化を図り、地域防災指導員等を対象に風水害への備えとその対応について継続的な啓発、指導を行っていく。令和5年度も引きつづき、「風水害対応イメージTEN」研修を実施する予定。



## 令和4年度取組実績

**重点取組事項：洪水時における河川管理者からの情報提供等**

**取組項目：災害発生時の連携（取組番号：2）**

- ・ 6月2日河川決壊時の連携、協力、情報発信・提供

**重点取組事項：河川管理者からの情報提供及び現地調査**

**取組項目：現地調査による確認（取組番号：2）**

- ・ 災害時のための現地調査（安倍川）

**重点取組事項：水防関係機関との連携**

**取組項目：各会議等への参加（取組番号：33）**

- ・ 第36回静岡防災情報連絡会への参加
- ・ 菊川・天竜川水防連絡委員会への参加

## 令和5年度取組予定

**重点取組事項：水防関係機関との連携**

**取組項目：各会議等への参加（取組番号：33）**

- ・ 引き続き、各会議等への参加により水防関係者・機関との連携、協力を図る。

**重点取組事項：河川管理者からの情報提供及び現地調査**

**取組項目：現地調査による確認（取組番号：2）**

- ・ 引き続き、関係機関からの情報提供をもとに現地調査を実施して災害時に備える。
- ・ 独自の災害ハンドブック作成、更新。（災害時の迅速な災害対応・対処のため）

安倍川現地調査



災害派遣ハンドブック

